

第9回 釜石市新市庁舎建設検討委員会概要

日 時 令和元年7月12日(金)午後2時00分から午後3時50分

場 所 釜石市役所第4庁舎第7会議室

議 題 議案第1号 委員の委嘱について
議案第2号 委員長及び副委員長の選任について
議案第3号 釜石市新庁舎建設基本設計(案)説明書概要版について
議案第4号 新庁舎周辺環境整備スケジュール等について
議案第5号 求められる機能について
議案第6号 その他

出 席 者 <委 員>
石垣委員、柏木委員、柏館委員、菊池委員、佐久間委員、佐々木(光)委員、
佐々木(耕)委員、澤田(龍)委員、澤田(政)委員、畠委員、矢浦委員、山崎委員

<アドバイザー>

南 正昭 岩手大学理工学部教授

<事務局>

山崎副市長、窪田副市長、丸岡室長、洞係長、石毛主任、山本係長

欠 席 者 <委 員>
岡道委員、川崎委員、橘内委員、柴田委員

<事務局>

佐々木総務企画部長

協議内容

【事務局】 今回、新たな任期の委嘱となることから、委員長・副委員長についての委員の互選による定めのこととなるが、選出の方法について、お願いしたいと思うが、どうするか。

【委 員】 留任していただいたらいいと思う。
委員長には大変ご苦勞かもしれないが、よろしくお願いしたいと思う。
他の人の意見も聞いてほしい。

【事務局】 他にご意見はないか。
(全員一致で「賛成」の声。)
それでは、引き続き委員長をお願いしたい。そして、副委員長も同様にお引き受

けいいただきたいと思う。よろしくお願ひしたい。

なお、本日はアドバイザーにも出席いただいている。

また、基本設計業務を行っている株式会社佐藤総合計画様にもご出席いただいているので、具体の質問等あれば直接回答いただくこととしている。よろしくお願ひしたい。

【委員】 資料の内容理解でお願ひしたいがよろしいか。

資料の内容理解のために、2点質問する。

ひとつは日影規制について、日影規制が無指定となっており、また別に、敷地北側に日影規制がありとなっているが何が違うのか。次にピットの関係である。車庫のピット、雨水貯水槽が、250トンと非常用汚水槽100トンとあるが、これは250トンを兼用して100トンにするのか、それとも250トン・100トンがそれぞれあるのか。この2点をお願ひしたい。

【事務局】 用途地域について、敷地全体は近隣商業地域ということで日影の規制はない。

ただし、道路を挟んだ北側の山側は、住居系地域となっており日影規制がかかる。建物の日影を計算すると住居系地域にもかかるので、あまり北側に寄せて高いものを建てることは難しい。今の位置に建てるなら4階建て程度が限度である。それからピットについては、別々に250トンと100トンということで用意したいと計画している。

【委員】 庁舎から出た車が左に鶴住居方面に行く場合の左折レーンの設置、それから鶴住居方面から来た時の庁舎の中に入るときの右折レーンの設置とバスの往来、信号機の問題について、回答をお願ひしたい。

【事務局】 右折・左折の関係だが、鶴住居方面から来た車が庁舎に入る場合ということで右折レーンは設置することで設計している。庁舎の方から出た車の左折レーンは設置が難しいので、一本の車線で曲がってもらうということになると考えている。それから、庁舎敷地内の中に来たバスが十分な回転ができるのかのところは、県交通さんと事前に協議し、計画の場所・大きさであればなんとか対応できるというところである。また、ダイヤについては、同じロータリーの中に同時に上り下りのバスが入らないように、重ならないようにということでダイヤを編成するという計画で協議中である。歩道橋は撤去するというところで公安委員会のほうは了解していただいている。最後の信号機を新たに付けるか否かということについても、公安委員会のほうと協議させていただいている中で、警察も十分に懸念しているところである。付けるとすれば新設なのか、或は、移設なのかは、警察も今後検討していくということで協議中である。

【委員】 新市庁舎の本庁舎は4階建てで、会議棟は2階建てのようだが、なぜ会議棟も4階建てにしないのか。

【事務局】 会議棟の1階は、有効活用するというので、災害時の多目的広場の位置付けで計画した。

【委員】 違う委員の立場として、違う意見もあるということで話をする。一番大事なのは、建築で東側の道路からこの庁舎の前を見通せると、全然圧迫感がない。市役所前が完全にエル型で遮断されて駐車場もなにも見えないというようなことは、やっぱり問題があるというように思う。もし、会議棟を4階、或は、庁舎棟と同じように高さを揃えてしまうとエル型の交差部というのが、光が非常に入らない部屋が多くなって、環境的にもあまりよろしくないということになると思う。最初に言った「見通し」というロケーションの問題と、庁舎としての機能の問題からいっても手前側を低くするというのが良いというのが私の意見である。

【委員】 アクセスの件を聞いてよろしいか。

両石インターやアクセスの件が話題となったが、縦軸としての三陸道の両石インターの上り線、内陸側に行くインターチェンジが防災上からも産業振興上からも必要だという話があるということは伺っているが、以前より時間も経っているので、進捗があれば伺いたい。もう一件は、横軸の道路について。

避難道路から、八幡町（現:大渡町付近）ですか、例えば津波があった場合、避難道路がある海のそばに今度新市庁舎ができて、その付近を通って福祉庁舎に行くような、新市庁舎を迂回したというような取り組みを考えているか。お伺いしたい。

【事務局】 その2点について。

両石インターの有事の際の利用と、或は、フルインターにするべきではないかというご提言を前にいただいた。それらを含めて、国の関係機関へお願いはしている。まずは、この沿岸道の全線開通というのが一番の最大の目的であるので、そちらを進めながら、その次の段階できちとした要望、フルインターについての要望をしていくというのが、流れとしてはありと思っている。

それから2点目についてだが、要望としてあるのは、横軸のその避難道の考え方がひとつあり、釜石市役所が防災のための拠点となるということである。避難所になるという一時避難になるということは明確なので、避難道路からのスムーズな動線、それについては、今後考えていかなければならないと、特にこの釜石市役所の旧庁舎を壊した後、この第3分庁舎までは水がきているので、そこを越えるような安全な道路については、今後前向きに検討していく必要があると考えている。

【委員】 ひとつ確認したい。エレベーターの位置の問題があって、横にするか後ろにするか、壁際がいいってというような話を最初に聞いたが、その後、全然変わっていない感じがした。圧迫感というか、広いホールなどに位置的に影響しないのか。吹き抜けができるから、圧迫感が和らげると思う。そこの効果を含めてお尋ねをしたい。

【事務局】 エレベーターの位置だが、もう少し奥に置いたり、横に置いたり検討した。結果としては、やはり正面にエレベーターがあったほうが市民の方が、エレベーターを認識しやすいだろうということで、風よけ室から正面にエレベーターを、最終的に今の位置に計画した。そして、その後ろに階段のセットをした。それから、1・2階を結ぶエレベーターだが、別階段を南側に設けて、奥の方の1階の西側で、打ち合わせ・相談をしたい市民の方が2階に上がっていく時に、遠回りしないで済むだろうということで階段を計画した。エレベーターの前に2階の部分では吹き抜けを設けて、圧迫感がないようにということで計画した。風よけ室に入って右側の方には、市民ロビーということで展示や喫茶ということで市民の方の会議や打ち合わせ、待ち合わせの場ということで確保しており、個々を含めて一体的な空間として利用ができるように考えている。

【委員】 前回までいただいていた図面とちょっと違っているのが、1階のコンシェルジュがなくなったと。総合案内があっても、支援が必要な方に対して、市の側から支援をするという、最初の案は、そういうふうには作られていた。コンシェルジュについては、場所があるということは本当はすごく意識的なことなので、総合案内で足りるよというのであればそれでよいが、そうではないと思う。やはり、意識づけの問題として継続的にそれをやっていくのはもちろん、ハードがなくてもソフトのほうでやりますよってということが、本当はすごく大事なことなんじゃないかと思っている。今回これが無くなったのはどういうわけか伺いたい。

【事務局】 これから高齢の方が多くなって、申請や相談もいろいろ複雑になってきている。そういった中では、その建物の受付と案内について、申請・相談の案内は切り離すべきと思っており、総合案内という場所を使いながらできるものなのか、それとも、もう少しロビー側にもってこなければいけないのかを、協議中である。両面から市民サービスというものを考えるべきだろうということで協議をしているので、今後、実施設計の中で、窓口の並び方等も決まってくると見えてくるものと考えている。ご意見を受け止めながら実施設計の段階でさらに詰めていきたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。

【アドバイザー】 多くの意見をひとつひとつお伺いしながら、委員長はじめこの会運営をしていて、そして、そこでいただいたご意見、その最後のほうのページにまとめられているが、これらを基にして庁舎（案）を設計に結び付けてきたということだと

思う。中身の建物の中の必要なもの。必要な部屋や機能。そして、駐車場やその周りのアクセス、街へ市役所への入りやすさ。そうしたことをみなさんからいただいたご意見が、この形になってきたということだろうと思う。

ぜひこの形はひとつしか得られないというがあるので、みなさまのご意見が最も実った形で入っている形を最終的にはいくつもの案を出していただき、選定したことになり、これに基づいて庁舎を作っていくことになると思う。

合意形成というか、市民のご意見を入れながら作ってきた、これほどまでに、意見をたくさんしっかり入れて市庁舎を作っていくっていう取り組みというのは、この大変な時期において難しかったのではないかなと思うが、よくここまで進めてきたなという印象がある。委員のみなさまは、自分たちの意見が盛り込まれ、この市役所ができていったというひとつの誇りをぜひもって市民の方に広めていただけたら、この市役所がシンボルとしていい役割を果たすのではないかなと思う。

【委員長】 ありがとうございます。貴重なご意見ありがとうございました。

今日、いろいろと意見も出ました。課題も確かにあると思いますが、今この基本設計をもう一度まとめたものを終結し、これからの実施設計に入る。実施設計だけでも約1年かかる。今みなさんからいろいろなご意見が出たことを十二分に反映していただけるという前提条件のもとに、この基本設計に関して、ご了解いただければ、そのような方向で進めていいのではないかなと思うが、いかがか。なにかご意見は。なければ、そういう方向でいきたいと思う。声出してください。

【委員全員】 はい。

【委員長】 はい。なければ、長時間にわたり貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございます。では、第9回の釜石市新庁舎の建設検討委員会をこれをもって終了いたしたいと思います。どうもありがとうございました。

以上